

ジャック・ルコックの言葉から 〜ルコックの創造教育〜

ジャック・ルコックは、1940年代からフランスで演劇活動を始め、その後ドイツやイタリアで演劇教育に関わった後、56年からパリに拠点を移し演劇学校を開いたフランス人です。

常に生徒と共に探求の旅を続けたルコックは、60年代にはパリの国立美術学校の教授にも就任し、空間構成と建築に動きの教育法を取り入れた多くの実験を行いながら、その演劇教育の視野を舞台芸術のための探求として拡げていきます。

彼の刺激的な探求の授業は生徒の好奇心と創造力をかき立て、70年代には「太陽劇団」のアリアス・ムヌシュキンなどの素晴らしい演出家たちが卒業生として意欲的に創作活動を始めるようになりました。そして彼らの独創性豊かな作品に触れた若者たちがその豊かな「発想のモト」を探ろうと、やがて世界中からルコックのもとにやって来るようになりました。

99年に亡くなるまでルコックの探求心は失われることなく、創造教育の実際はそれぞれの時代の中で常に生徒と共に発展し続けていきました。

彼は、自身の学校についてこう語っていました。「本校のオリジナリティは、できるだけ広く不変の基礎を身につけること。あとはいろいろな要素の中からそれぞれ自分の道を選んでほしい」と。

その師の言葉を受けて自由に創造の翼を拡げていった卒業生は、俳優、演出家、舞台美術家、劇作家、振付家、ダンサー、お笑い芸人、パフォーマーなど舞台芸術のありとあらゆるアーティストとなって活躍し続け、同時に彼が行なった教育は、ルコックの視線を理解し、その本質を感じ取った卒業生たちによって世界中に「絶えざる探求の場」として生き続けています。

そして、いま、ここにある 10-BOX 国際演劇学校もまた、そうやって芽吹いた貴重な「場」のひとつなのです。

10-BOX 国際演劇学校講師・コーディネーター
舞台芸術家
ヤコ キムラ



ジャック・ルコック国際演劇学校
Jacques Lecoq International Theatre School

現代演劇教育の第一人者であるジャック・ルコック(1921-99)が1956年パリに設立した演劇学校。本科は1学年20人前後で2年制。観察と発見、即興、分析、創作実験を作業の柱として構成された独創的なプログラムには、常に世界中から学生が集まり、多くの才能を輩出しつづけている。

せんだい演劇工房 10-BOX

演劇振興の拠点施設として、仙台市の施設を再利用、一部新築し、知的障害者通所施設「のぞみ苑」と共存。建物を俯瞰すると数字の「10」の形をしています。



演劇系練習施設

建築から運営までを利用者との協働で計画。最長10ヶ月前からの仮予約制度や一括申し込みができる「連続利用」「定期利用」、また自主管理による実質24時間の利用を実現。演劇以外にも利用でき、ニーズに合わせたシステムと空間づくりを目指します。

音響・照明を仮設した「練習室(box-1)」では、公演も可能です。その他、道具製作ができる「作業場(box-7)」、簡易印刷ができる「制作室(box-8)」、戯曲や冊子が読める「資料室(box-8)」、キッチンのある「事務室(box-10)」など10のboxから成り、創造のプロセスを幅広く支援します。

演劇振興事業「劇部仙台」の拠点

10-BOX 国際演劇学校ほか様々な事業を展開。劇のまち仙台戯曲賞、演劇プロデュース公演、仙台演劇祭、街が劇場になる日「マチゲキ」、10-BOX 演劇道場「舞台スタッフ・ラボ」等。

● SENDAI

せんだい演劇工房10-BOXはこちらです

Access

JR 仙台駅から市営バスで
仙台駅西口バスターミナル4番から(約25分)

- * 志波町・卸売市場 経由 東部工場団地行き
* 志波町・卸売市場 経由 霞の目営業所行き
⇒「卸町演劇工房前」下車 徒歩3分
- * 志波町・六丁の目 経由 新浜 岡田車庫行き
* 志波町・六丁の目 経由 賀茂神社行き
* 卸町二丁目 経由 志波町・霞の目営業所行き
⇒「卸町二丁目」下車 徒歩8分

自動車

東北自動車道 泉インターから約15分
仙台南インターから約20分
⇒国道4号線仙台バイパス「卸町交差点」西へ3分



せんだい演劇工房 10-BOX

〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町2-12-9
Tel: 022-782-7510 Fax: 022-235-8610
E-mail: box-10@k2.dion.ne.jp
http://www.bunka.city.sendai.jp/10box/index.html



ジャック・ルコックシステムを基に

10-BOX 国際 演劇 学校

Based on Jacques Lecoq system

10-BOX
International
Theatre School

俳優、演出家、舞台美術家、振付家、
For actors, directors, scenographers, choreographers,

ダンサー、パフォーマー、芸人、
for dancers, performers or entertainers...

舞台芸術に関わるすべての人に
and everyone involved in theatrical art

建築、文学、そして教育、
For architects, writers or educationalists...

創造を志すすべての人に
and everyone facing creation

主催：財団法人仙台市市民文化事業団・仙台市

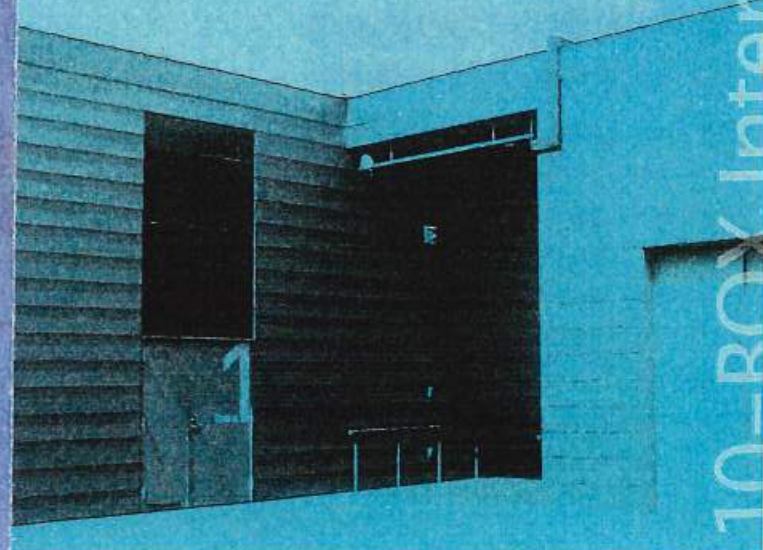


「試しながらじっくり演劇をつくる空間」をコンセプトに、演劇系練習施設「せんだい演劇工房 10-BOX」は2002年にオープンしました。

ここでしか実現できない「身体を中心として多方向に発展し得る創造の基礎」を学べる環境づくりを計画するにあたり、フランスにある「ジャック・ルコック国際演劇学校」の卒業生でありフランス在住のヤコキムラ氏と1年かけて準備を整え、同校からヴァレリー・モアイオン氏を講師に推薦していたため、2004年に「10-BOX 国際演劇学校」を開校することとなりました。

この学校での大きな特長は、「ジャック・ルコック国際演劇学校」で行われる2本の柱、本科の授業「身体(ムーブメント)」と研究科の授業「造形」とを一本化した10-BOX独自のカリキュラムです。言わば「創造」というひとつの山をふたつのコースで同時に登るわけです。受講生は、その異なる道のりから見える風景が山頂に近づくにつれ、大きな全体像を立体的に構築していることに気づくでしょう。

日本中からの参加者が、すどろい夏に仙台で出会い、「創造の冒険」に挑み出していくことを願っています。



ここは、「お芝居」を学ぶところではありません。と言ったら、不思議に思うでしょうか。俳優には、せりふを言うよりも大事なことがあります。空間の中にしっかり存在すること。その場でたしかに「生きる」こと。観客は、せりふより先にそれを感じ取ってしまいます。生き生きとした存在感。その身体に満ちているエネルギー。目の前で刻々と変化してゆく、空間と身体のダイナミズム。それはもしかすると演劇のことだけではなく、絵画、彫刻、詩歌、物語、音楽、ダンス、人間が創り出すすべてのことに共通する要素かもしれません。それを「本質」と呼んでみます。自分自身で、ものごとの本質を発見してゆくレッスン——それがこの学校のねらいです。大切なのは、自分を世界に開いてゆくこと。創造するための基礎が、ここにはあります。

「身体」と「造形」を一本化した 10-BOX 独自のカリキュラム

ジャック・ルコック国際演劇学校における本科の身体的カリキュラムと、研究科の舞台美術実験部門「LEM(動きの実験室)」の造形的カリキュラムを関連付け一本化。身体の動きを自覚し、分析すること、空間の関係を認識し、自由で敏感になること、そのために必要な研究を身体(ムーブメント)と造形のふたつの授業を組み合わせ、交差しながら段階的に積みあげます。

24時間研究に取り組める 10-BOXならではの環境

授業では日々課題が与えられます。予習は無く、メモも禁止です。そこには明確な目的があり、他者と比較しても意味がありません。研究を目的に他者と出会い、それぞれの視点で取り組む事は、「学校」というスタイルでなければできません。

コース毎のアトリエは24時間使用でき、10-BOXの機能を最大限に活用し、自主的に集中して稽古や研究ができる環境を整えています。

身体(ムーブメント)の授業について

ジャック・ルコックの教育法は、舞台芸術を読み取る上でも欠かせない「詩的観察力」を高め、自分を取り巻く世界に対する目を開き、自らの身体感覚でそれらの動きを捉えなおし、表現者としてのキャパシティを広げようとするものです。

10-BOX 国際演劇学校のカリキュラムで発展させている内容では、まず、身体の動きを自覚し、分析し、空間と身体の関係について認識し、敏感になることです。

そうして培われた共通の意識「詩的共通基盤」の上で、ルコック・システムの大きな柱のひとつである「中立な身体」へと進み、さらに「人物像の構造」に至り、即興を発端としたシナリオのグループ制作、演出へと発展させていきます。

演出家・舞台俳優・カンパニー主宰
ヴァレリー・モイオン
Valérie MOYON

フランス・トゥールーズ市在住。トゥールーズ市立演劇学院を卒業後、トゥールーズ文科大学の演劇コースで学び、2000年ジャック・ルコック国際演劇学校に入学。卒業後はコンテンポラリー演劇を中心に俳優として参加する傍ら、アート・パフォーマンス作品の創作にも積極的に取り組み、03年『L'Accident Lin é aire』で演出家としても活動を始める。パリの私立俳優研究所 Studio Alain De Bock で講師を務めたのち、公立教育機関での演劇授業にも協力・参加している。04年初来日し、10-BOX 国際演劇学校の講師を務める。

Hypothèse-Théâtre Licence n° 315438



造形の授業について

ムーブメントの授業と平行して行われるアトリエでの作業は、造形を通して自分自身の感覚と向き合うことができる大切な作業です。この経験を経ることで、受講生たちは稽古場で自分自身の身体に起こっていた事柄を別の視点から確認することになり、改めて舞台空間に存在する全ての要素を考えなおしてみるきっかけとなります。

これら造形を通してなされる分析や観察は、ひとりの役者としてだけではなく、舞台芸術家としての総合的な視点を養育することになり、ジャンルを超えた芸術作品の作り手に有益な発見をもたらすとともに、独自の創造力を開花させていくための有効なトレーニングとなります。



舞台芸術家
ヤコ キムラ
Yako KIMURA

仙台市出身。パリ市在住。1990年より日本で演劇活動を始め、96年演劇留学のため渡仏。運動力学、ボディ・マインド・センタリング、フェルダン・クライスなどの考え方を基盤にした基礎身体トレーニングについて学ぶ。97年ジャック・ルコック国際演劇学校付属研究所(LEM)に入学。2年間の舞台空間研究課程を修了した後、99年より舞台美術と空間演出の視点からも創作に関わる。同年、ダンスとのコラボレーション作品『Les Cantos Désertiques』をパリ、ロンドンなどで公演。2000年より実験美術パフォーマンスグループ「Index sur l'inouï」と共にインスタレーションやパフォーマンス作品を制作、野外フェスティバルなどで発表する。02年ヌーボーシルク(前衛サーカス)のプロジェクトに関わったのち、04年より10-BOX 国際演劇学校のコーディネイターおよび講師を務める。



■コース/カリキュラム

本科：100 時間程度

空間の発見 / 身体ダイナミズム / 人物像 / 空間に広がる動き / 実験〜演劇的な状況 など

研究科：100 時間程度 《本科修了生対象》

「同化」を味わう / 顔のダイナミズム / 表情マスク / 抽象マスク / 実験〜演劇的な状況 など

短期体験コース：随時

舞台〜その空間と身体

■募集要項

参加資格 21 歳以上。舞台芸術の現場で 3 年以上の経験者(俳優、演出家、照明家、ダンサー、パフォーマー、など)
または、教育、建築に関して 3 年以上の活動経験者(学生も含む)。
今後の活動を続ける意思がある人。

募集人数 各コース 20 名程度

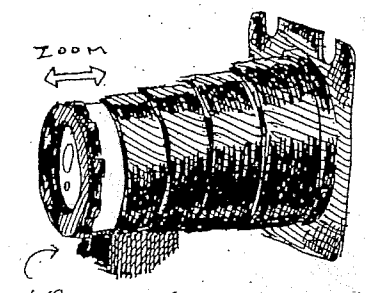
授業料 本科・研究科 各 30,000 円(資料代、材料費、保険料含む)

授業日時 主に、平日夜 1 コマ、土日 2 コマ(1 コマ: 2 時間 30 分)

■開催時期は主に 7 月〜8 月の夏期です。年度により、開講するコースが変更する場合があります。(授業料も変更する場合があります)各コースの授業日程等詳細については、HP でご確認ください。直接電話または E メールにてお問合せください。
■遠方からの交通及び長期間の宿泊について、可能な範囲でご相談承ります。お気軽にお問合せください。

〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町 2-12-9 せんだい演劇工房 10-BOX
Tel : 022-782-7510 Fax : 022-235-8610
劇部仙台 HP : <http://www.gekito.jp/> E-mail : contact@gekito.jp
主催 : 財団法人仙台市市民文化事業団・仙台市

MOL 先玉と呼ばれる対物レンズ

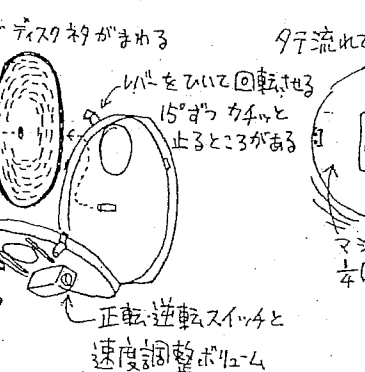


ニッパにピンを合わせる
ハンドルが付いている。

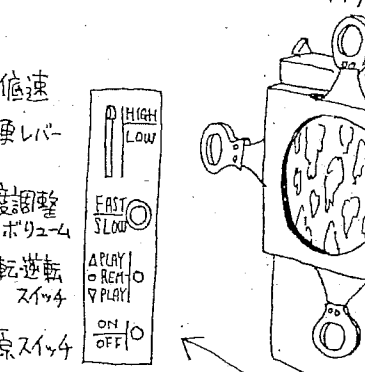
先玉は2~12インチで、サイズは1010

距離 インチ	1.5	2	3	5	6	10
2	3.5		7		14	23.4
4	1.8		3.6		7.2	12
6	0.9		1.8		3.7	6.1
8		1.0		2.6		5.2
10		0.8		1.9		3.9
12		0.6		1.4		2.8

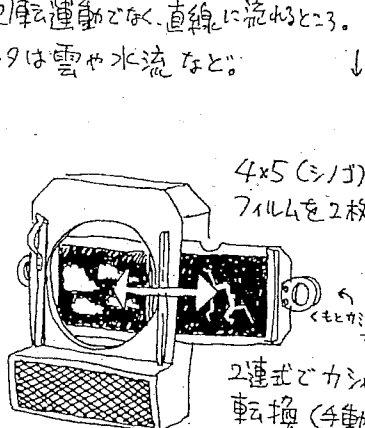
各種先玉を使った照射面の直径(m)



正転逆転スイッチと
速度調整ボリューム

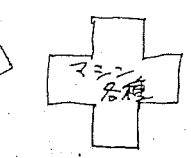


ディスクマシンとちがうのは、ネタが
回転運動でなく、直線に流れること。
ネタは雲や水流など。

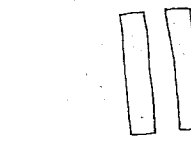


2連式でカセット・
転換(手動で可)

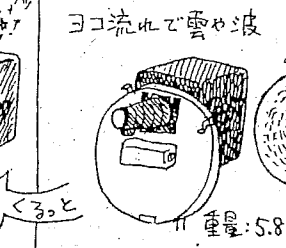
ネタは雲だけでも各種あります。



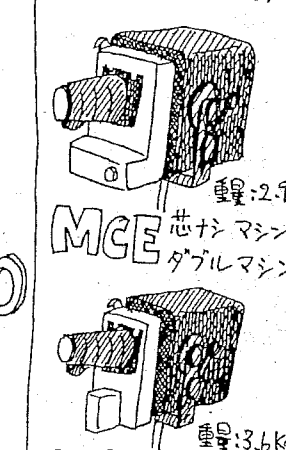
光源と先玉(レンズ)の
間に、43mmのマシン(ネタ)を
とりつける。
この3つが組み合って
特殊な効果を生み出す。



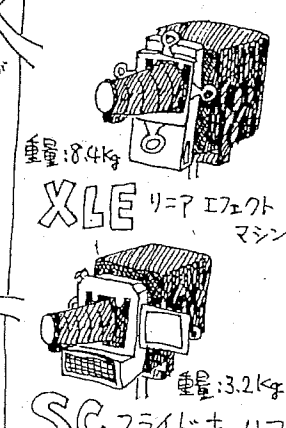
各種先玉を使った照射面の直径(m)



正転逆転スイッチと
速度調整ボリューム



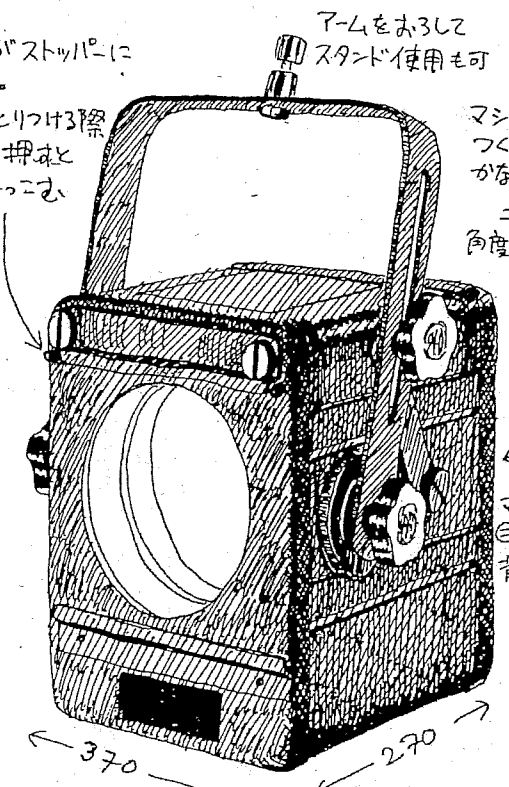
ディスクマシンとちがうのは、ネタが
回転運動でなく、直線に流れること。
ネタは雲や水流など。



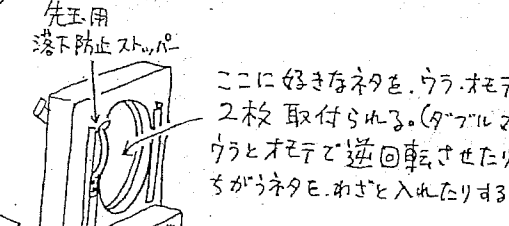
2連式でカセット・
転換(手動で可)

ネタは雲だけでも各種あります。

このボッチが「ストップ」に
なっている。
マシンをとりつけ3秒
上の①を押すと
ボッチも、ひっこむ。

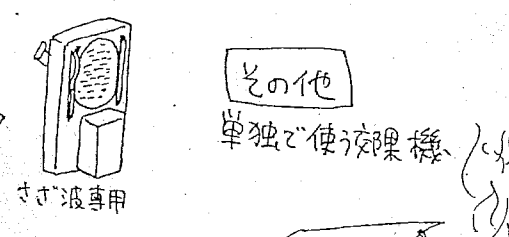


1kw
PIS プロジェクタースポットライト
(光源)
重量: 10.3kg

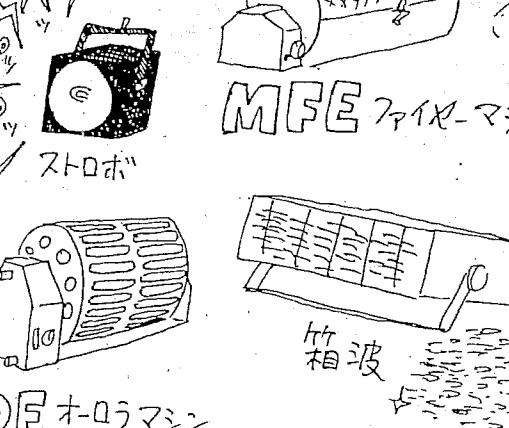


ここに好きなネタを、ウラオモテ
2枚 取付けられる。(ダブルマシン)
ウラオモテで逆回転させたり
ちがうネタを、わざと入れたりする。

ネタの種類は1010



正転逆転スイッチと
速度調整ボリューム



ディスクマシンとちがうのは、ネタが
回転運動でなく、直線に流れること。
ネタは雲や水流など。

ネタは雲だけでも各種あります。

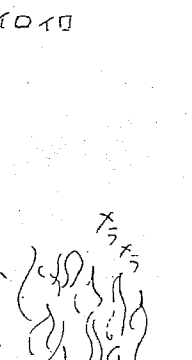
マシンや先玉が
つく、頭が
がたつく。
二重の固定で
角度をキープする。

マシン用の
②コンセントが
背面に付いてる。

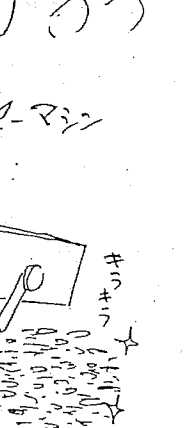
各種先玉を使った照射面の直径(m)



正転逆転スイッチと
速度調整ボリューム

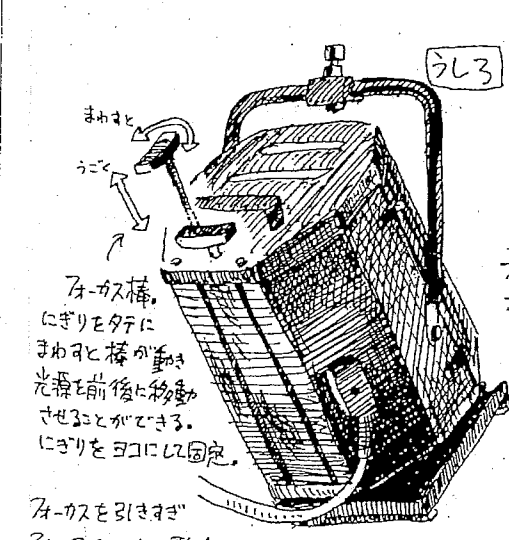


ディスクマシンとちがうのは、ネタが
回転運動でなく、直線に流れること。
ネタは雲や水流など。

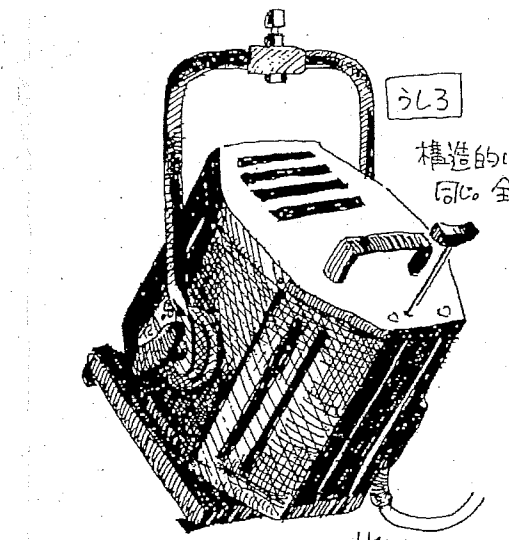


2連式でカセット・
転換(手動で可)

ネタは雲だけでも各種あります。

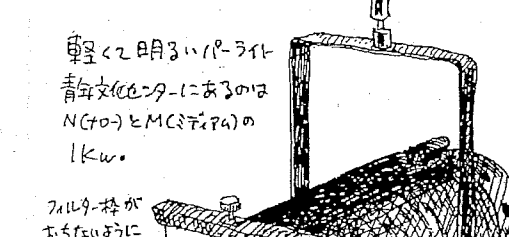


1kw
CI-8H (8インチサイズ 110ゲン 平凸スポットライト)
重量: 10.5kg

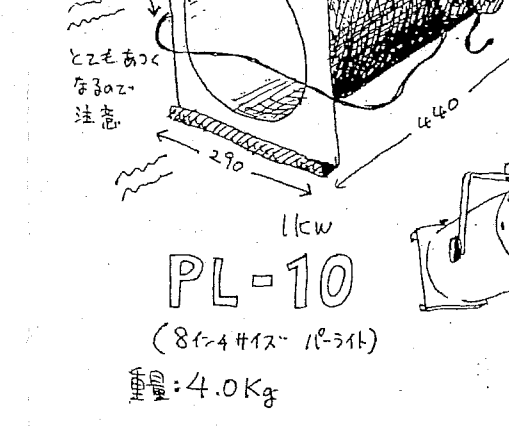


ここに好きなネタを、ウラオモテ
2枚 取付けられる。(ダブルマシン)
ウラオモテで逆回転させたり
ちがうネタを、わざと入れたりする。

ネタの種類は1010

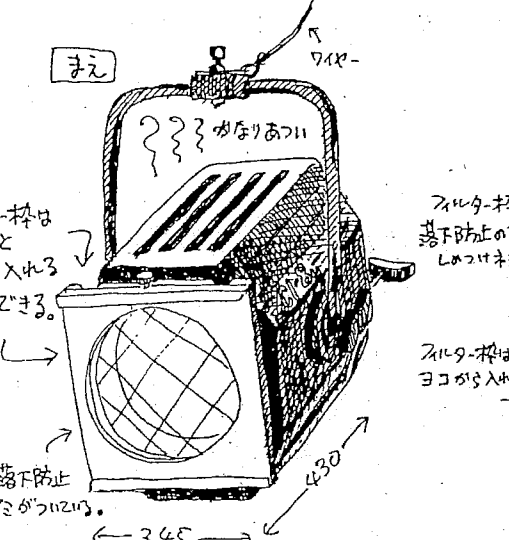


正転逆転スイッチと
速度調整ボリューム

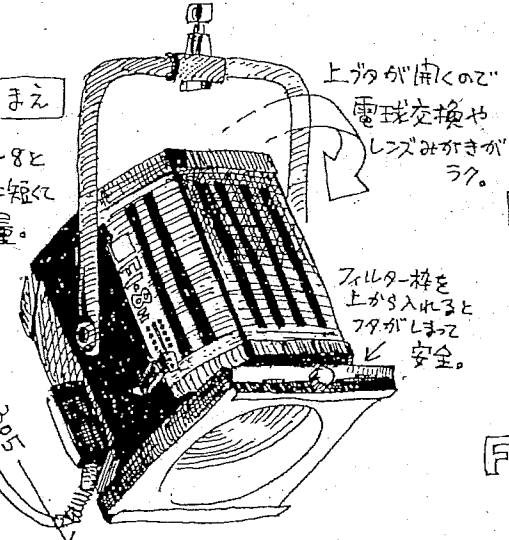


ディスクマシンとちがうのは、ネタが
回転運動でなく、直線に流れること。
ネタは雲や水流など。

ネタは雲だけでも各種あります。

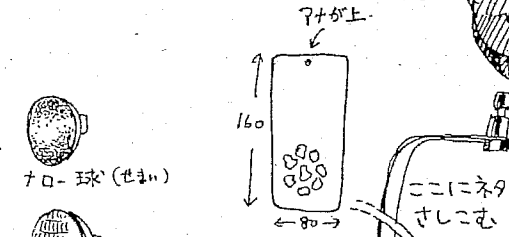


500w
CI-6H (6インチサイズ)
重量: 5.3kg

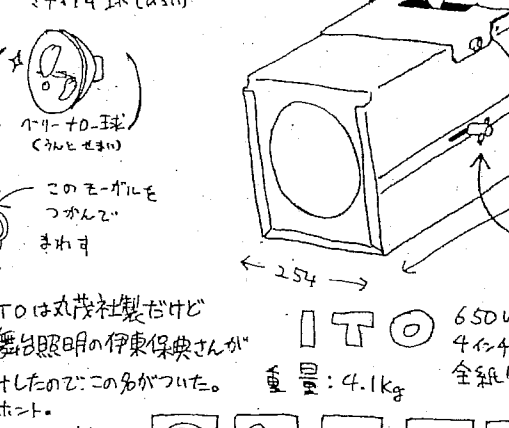


ここに好きなネタを、ウラオモテ
2枚 取付けられる。(ダブルマシン)
ウラオモテで逆回転させたり
ちがうネタを、わざと入れたりする。

ネタの種類は1010

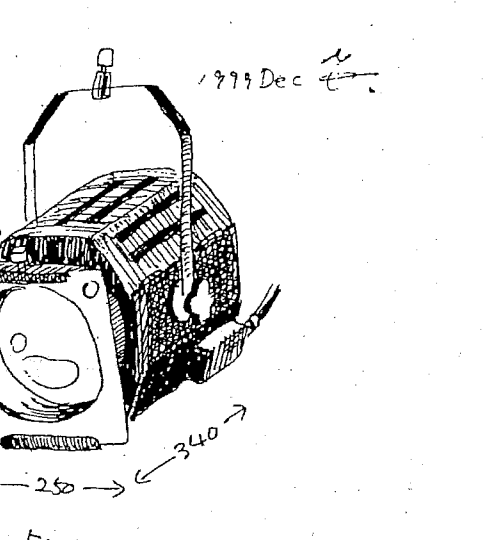


正転逆転スイッチと
速度調整ボリューム

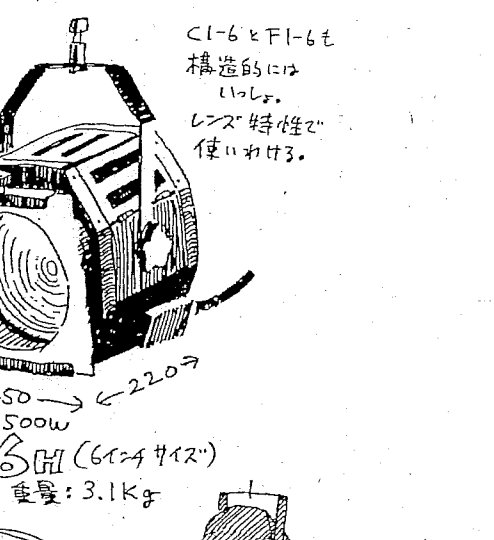


ディスクマシンとちがうのは、ネタが
回転運動でなく、直線に流れること。
ネタは雲や水流など。

ネタは雲だけでも各種あります。

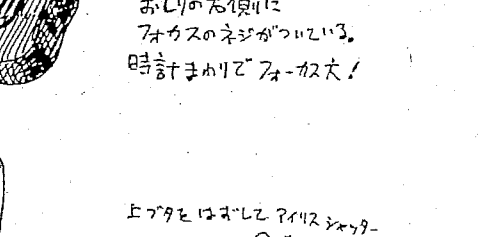


500w
FI-6H (6インチサイズ)
重量: 3.1kg

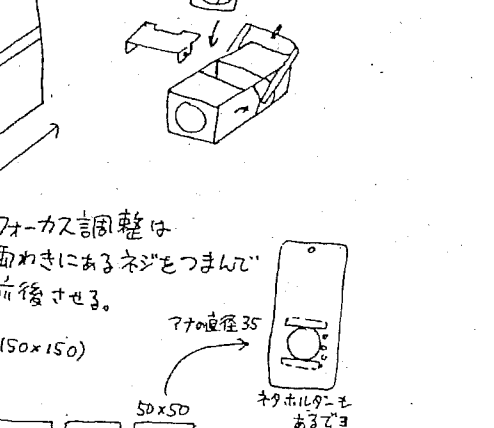


ここに好きなネタを、ウラオモテ
2枚 取付けられる。(ダブルマシン)
ウラオモテで逆回転させたり
ちがうネタを、わざと入れたりする。

ネタの種類は1010

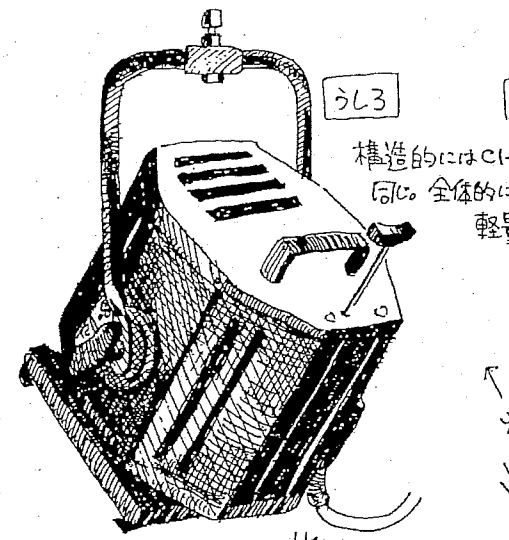


正転逆転スイッチと
速度調整ボリューム

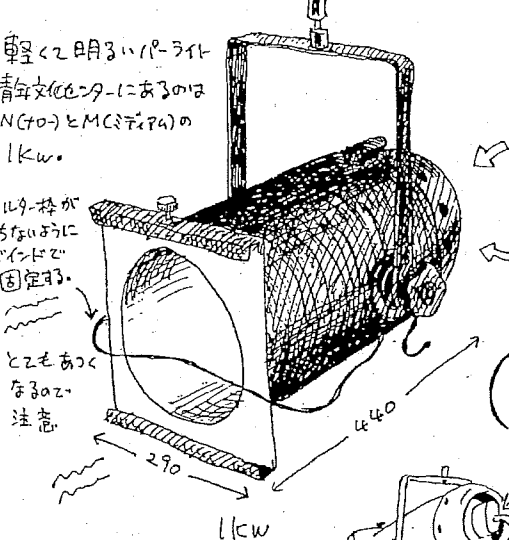


ディスクマシンとちがうのは、ネタが
回転運動でなく、直線に流れること。
ネタは雲や水流など。

ネタは雲だけでも各種あります。

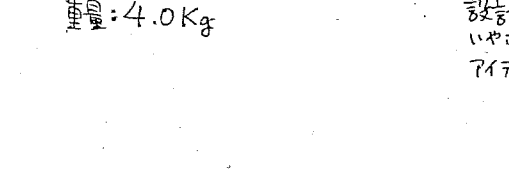


1kw
FI-8H (8インチサイズ 110ゲン フネルレンズスポットライト)
重量: 8.3kg



ここに好きなネタを、ウラオモテ
2枚 取付けられる。(ダブルマシン)
ウラオモテで逆回転させたり
ちがうネタを、わざと入れたりする。

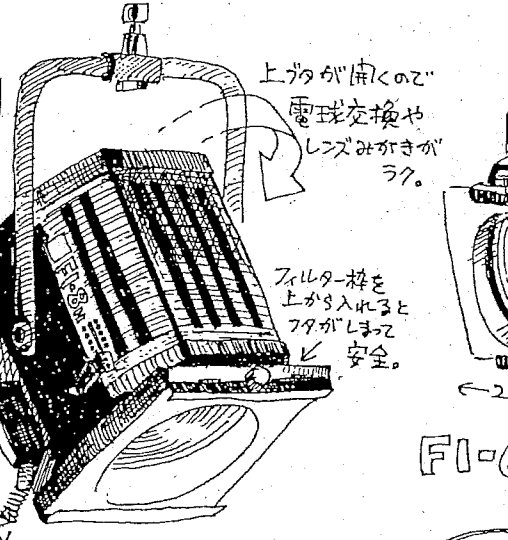
ネタの種類は1010



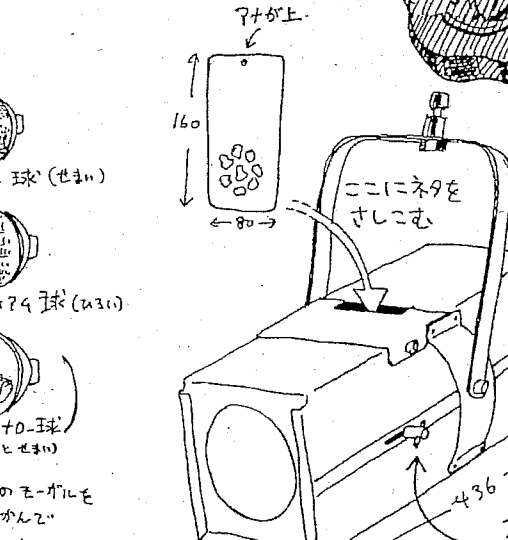
正転逆転スイッチと
速度調整ボリューム

ディスクマシンとちがうのは、ネタが
回転運動でなく、直線に流れること。
ネタは雲や水流など。

ネタは雲だけでも各種あります。

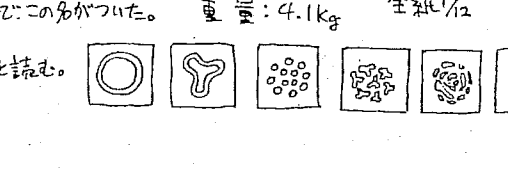


1kw
PL-10 (8インチサイズ 110ゲン)
重量: 4.0kg



ここに好きなネタを、ウラオモテ
2枚 取付けられる。(ダブルマシン)
ウラオモテで逆回転させたり
ちがうネタを、わざと入れたりする。

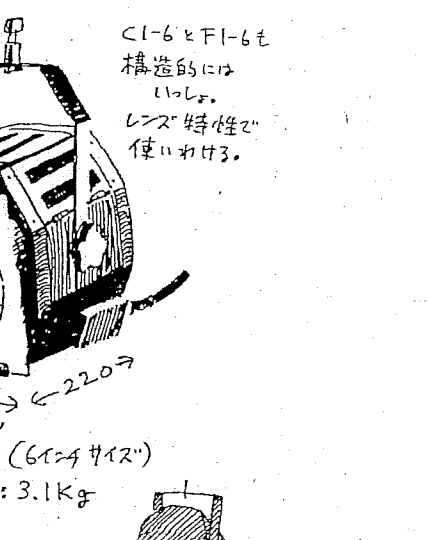
ネタの種類は1010



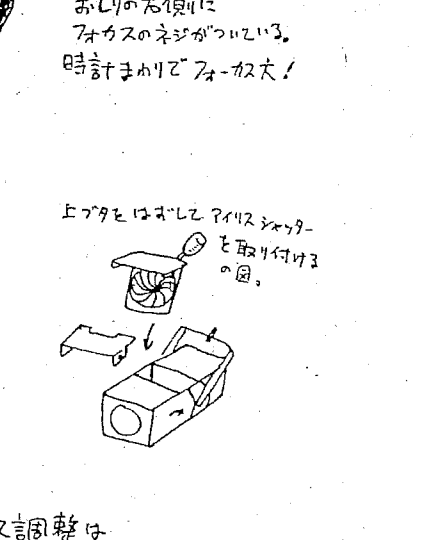
正転逆転スイッチと
速度調整ボリューム

ディスクマシンとちがうのは、ネタが
回転運動でなく、直線に流れること。
ネタは雲や水流など。

ネタは雲だけでも各種あります。

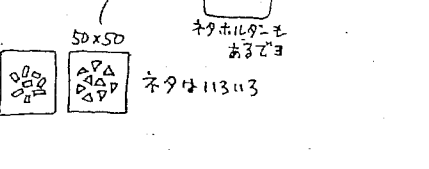


650w
ITO 4インチサイズ (150x150)
重量: 4.1kg



ここに好きなネタを、ウラオモテ
2枚 取付けられる。(ダブルマシン)
ウラオモテで逆回転させたり
ちがうネタを、わざと入れたりする。

ネタの種類は1010



正転逆転スイッチと
速度調整ボリューム

ディスクマシンとちがうのは、ネタが
回転運動でなく、直線に流れること。
ネタは雲や水流など。

ネタは雲だけでも各種あります。

舞台照明講座(氷解編)

※(客席側と舞台側で向かい合って)

かみ・しも・まえ・おく・出る・はける
かみ・しも・まえ・おく・出る・はける

あいさつ・声がけ・基本のキ

セリフ【おはようございます!】【おつかれさまでス!】

仕込み図・小屋打ち・キューシート
裸火・防災・申請書

地明り・ブッチに・前明り
フロント・エスエス・シーリング
ネライ・単独・コンモ線

ボルト・アンペア・キロワット(身体でV・A・K・W)
平凸・フレネル・LED
T型・C型・平行タップ
2タコ・3タコ・短つなぎ
サスにボーダー・フロアのポケット
回路が無ければ・立ち上げ・立ち下し

セリフ【1サスダウンします〜間もなくです〜ハイ!】

うち振り・そと振り・かみ振り・しも振り・首上げ・首下げ・介錯棒
殺す・バラスは現場の日常
フォーカス・バラスもドンバラで!
竿は垂直・光は円錐・バミリ・見切れに注意しよう

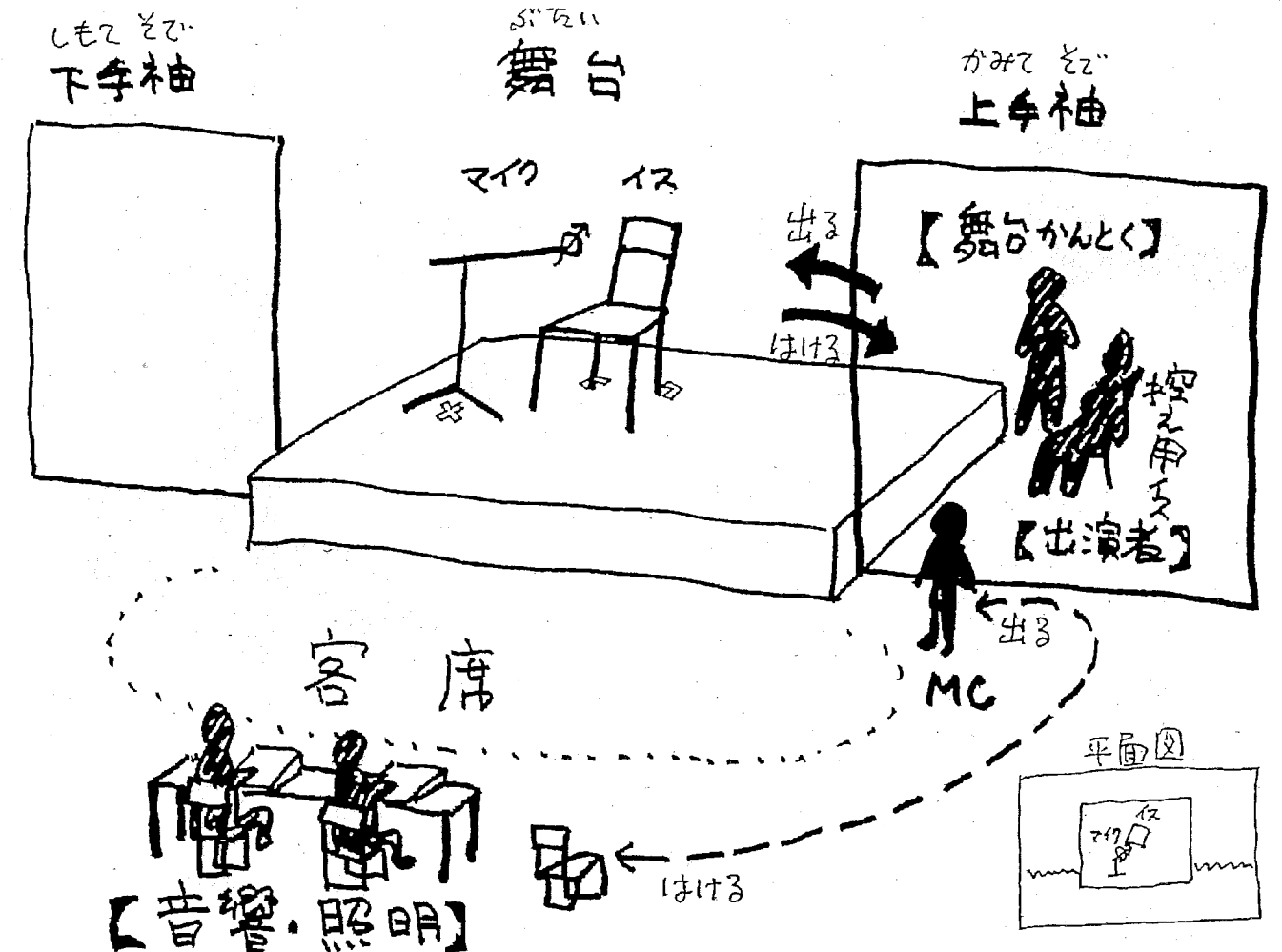
パッチ・シーンのプリセット

フェードインだよフェードアウト・カットインだよカットアウト
全暗・ハーフに・フル・しょんぼり

リハに・テクリハ・場当たり・ゲネプロ
小屋付きさんに「ありがと〜!」

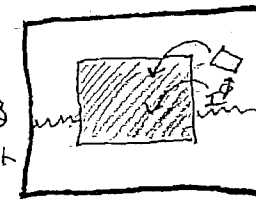
セリフ【色入れ、お願いしまーッス!】

500ワットは6インチ・1キロワットは8インチ
#1番ピンクに#2がレッド。#3番オレンジ#4が黄色。
#5番緑に#6青緑、#7番ブルーで#8紫。
他にもいろいろありまして。実のところはお好みで。



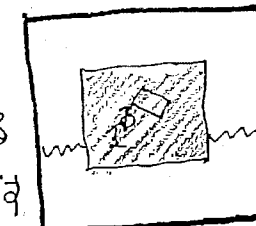
①客入れ

・BGM流れている
・イスとマイクをセット



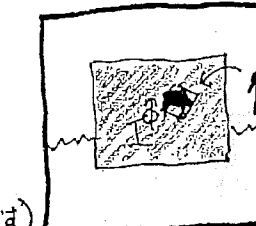
②MC

・出た音量さげる
・はけたら音量もどす



③板付

・出演者出て
・イスに座る
(舞台かんとかがうながす)



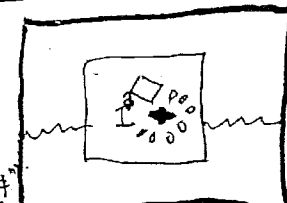
④音響・照明

・音響アウト
・照明はいる
・明るくなった読み始める



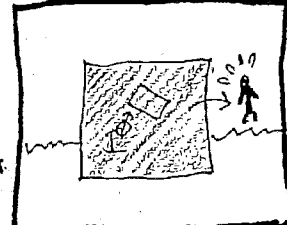
①おわり

・読み終わった
・本を置いて
・ゆっくり立ておじぎ



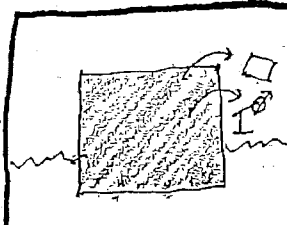
②はける

・照明アウト
・音響はいる

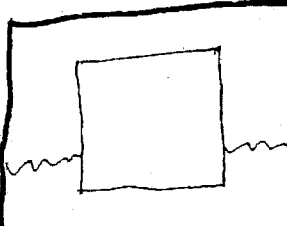


③転換

・イスはける
・マイクはける



④



朗読中

● 文化と芸術は別の概念であり、文化は狭義の概念で、芸術は広義の概念である。

● 文化は行政 → 権を作れば、アートが降り来る。

と思っていた(席で多くと話合った) 反意と... → 得ていられる使命感

(芸術的) ゴーバロビッチ

移動加子(経済)

カリソの幻想

タプタプ論

一 現場の身体

「あーがみ」

● 水色：行政が考える文化のすそ野を広げる「行政が見たい世界」アタ

● 赤色：現実はこの状態

移動できない(自治)

(文化的)

移動できない(自治)

(文化的)

アート (圧倒的)

世間 世間

(洗練)

西欧的

→ 日本的

基準線 (幻想の7-7-7)

(粗野) = 洗練されたもの

文化

幻想

文化

下も頂点に

183

神楽

飛見の金太郎 (飛見の金太郎)

(飛見の金太郎)

深き暗い

タプタプして曲線が

は領域

信仰の領域

七ツ工所

[文化(芸術)] = 無形文化

文化(芸術) = 無形文化

文化(芸術) = 無形文化

文化(芸術) = 無形文化

文化(芸術) = 無形文化

身につけてほしい【ワークショップのルール】

～限界を乗り越え持続可能性を生み出す対話文化の手法～

○ ばかにしない(＝ばかにされない)

他人の意見を否定しない＝否定されないから安心して語れる場

○ まず肯定的に受け止める「イエス！バット……」方式

○ 他者の発言をさえぎっても良い(ファシリテーターが調整)

○ 他人の考えに主観で左右されない

外観、年齢、性別、肩書などで比較や同調をしない(発言内容が最重要)

○ 自分の意思で考えを変え改める自由

妥協でも、押し相撲でもなく、自分の考えを自ら検証し選択する

○ 課題の「解決」や「まとめ」を急がずに「本質」を探る(もどる・うたがう)

課題(テーマ)の本質が共有できるまで手探り

○ 沈黙を恐れない

間が生まれるのは自然なこと(天使が通り過ぎた・アナンジュパス)

○ あえて別の意見を投げしてみる

自分の考えから離れて「逆を想定してみたら」と話題提供

○ 「むずかしいね」は禁句

話を不毛に終わらせる常とう句

+++++

● 悶々と消えない思いを持ち歩く

頭の隅に残り続け自然に湧き出る思いを持ち歩く

● 牽引や先導やコントロールではなく後ろから支える役【ファシリテータ】

話題が破綻しないための道案内、言い方を変えて確認するなど、見守り役

● 「デイベーション」ではない ※自己主張や論破ではない

● 役者になって演じる

● 常に全体に話しかける(個別にヒソヒソ話さない)

● 居心地の良い場所や姿勢で(特に向き合わなくてよい)

● 手ぶら(検索などはデジタル担当者を付ける)

● 記録を残さない(変化の過程が大事だから)